

新庭園「おろちの滝」完成

たたずめば、花の誘惑



ほたんと高麗人参の里  
四季 日本庭園

由志園



- 松江駅→タクシーで30分
- 松江駅→市営定期バスで40分
- 玉造→観光バスで1時間
- 米子駅→タクシーで35分
- 境港駅→タクシーで15分
- 米子空港→タクシーで15分
- 皆生→観光バスで30分
- 大阪→マイカーで3時間30分(中国自動車道落合JCT経由)
- 広島→マイカーで3時間30分(中国自動車道落合JCT経由)
- 岡山→マイカーで2時間10分(中国自動車道北房JCT経由)

営業時間	AM 8:30~PM 5:30(年中無休)
入園料	大人600円、中人300円、小人200円 団体割引(20名様以上) 550円
収容人数	540名様(お食事処「紅葉」、「禅」、料亭「しょうぶ」)

ほたんと高麗人参の里  
一万坪の日本庭園

由志園

〒690-1492 島根県八束郡八束町波入1260-2  
TEL (0852) 76-2255(代)  
FAX (0852) 76-2508  
URL: <http://www.daikonshima.or.jp/~yuusien/>  
E-mail: [yuusien@daikonshima.or.jp](mailto:yuusien@daikonshima.or.jp)



# 花暦 はなごよみ 開花時期

- 山法師
- 百日紅
- シャクヤク
- シャクナゲ
- さざんか
- 梅
- アジサイ
- ほたん
- 紅葉
- ツツジ
- サツキ
- ショウブ
- 千両
- アセビ
- つばき
- 桜

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
寒ほたん				■	■							■
さざんか				■								■
つばき		■	■	■								
梅				■								
シャクナゲ					■	■						
桜						■						
ツツジ					■							
ほたん					■							
ほたん (ほたんの館)	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
シャクヤク							■					
サツキ						■						
ショウブ							■					
アジサイ								■				
はす									■			
百日紅										■		
キンモクセイ											■	
紅葉												■



ごあんない

昭和50年4月、当時陸続きで遠い大根島に、何トンもの重い土・庭石・樹木をカッター船一隻と、ブルドーザー一台を使い、8年の歳月を費やして築山式の日本庭園が完成いたしました。

初代庭主、門脇 栄はじき父、由蔵が夢見志した庭園であるところから、その名を「由志園」と命名した。

約一万坪の日本庭園は、山陰一の規模を誇り、四季折々に自然の美をかもしだします。春には萌え出す新緑と白花繚乱のいろどり、中でも大輪の牡丹はその優雅さを競い、訪れる人々を魅了します。夏は、松の緑と滝から流れるせせらぎの音が涼しさを奏で、また紅葉の秋は、趣を変えた侘びと寂のある風情を見せてくれます。

冬は、緑と雪のコントラストが美しく、寒について咲く清楚な花々に心がなごみます。

## 牡丹観音菩薩縁起

大根島の牡丹の歴史はおよそ三百年前、村にある全隆寺の住職が遠州秋葉山から持ちかえられたのがはじまりと伝えられる。今その牡丹は大根島文化経済の象徴であり、島根県花でもある。大根島は中津に浮かぶ周囲十二キロの孤島で、住民の生活経済は大変厳しいものであった。特に戦時・戦後にあつては荒廃した焦土の中に働き手を失い、苦境の女性たちは郷土の再興を胸に秘め、女盛りの見栄も外聞も捨て、編の着物にモンペ姿で立ち上がり、全国各地へ牡丹の苗の行商を始めたのである。

彼女たちのたくましい心意気はついに天に通じ、日本一の牡丹の大根島と呼ばれるようになった。

施主はここに、牡丹を商いて青春を捧げた乙女たちへの限りない讃仰と、功德の悲願をこめ牡丹観音菩薩像を建立す。

観音菩薩様の御靈銭御一人御一休お受け下さい  
身につけておれば金銭に不自由はいりません

施主 初代由志園主 門脇 栄  
彫刻 安来市 清水洋一

合掌

花の四季

庭園の四季

春



牡丹 (ぼたん)



霧島躑躅 (きりしまつづじ)

春



夏



紫陽花 (あじさい)



花菖蒲 (はなしょうぶ)

夏



秋



紅葉 (もみぢ)



寒牡丹 (かんぼたん)

秋



冬



山茶花 (さざんか)



寒牡丹 (かんぼたん)

冬

